

1000 ゲノムプロジェクト、最新記事をネイチャー誌に寄稿 (10月31日)

国立保健研究所 (National Institutes of Health : NIH) の傘下機関である国立ヒトゲノム研究所 (National Human Genome Research Institute : NHGRI) が助成・指揮する、米国・英国・中国・ドイツ・カナダの研究者による国際官民コンソーシアムである「1000 ゲノムプロジェクト (1000 Genomes Project)」が発表した最新記事が、10月31日付の「ネイチャー誌 (Nature)」に掲載された。

同プロジェクトでは既に14の母集団から収集された1,092人分のゲノム配列を決定しており、最終的には26の母集団から収集された2,500人以上のゲノム研究を行う予定としている。

当プロジェクトの第1段階で獲得したゲノム情報量は180テラバイトに上るが、これらの情報は、国立医学図書館 (U.S. National Library of Medicine、メリーランド州) にある国立生物工学情報センター (National Center for Biotechnology Information) や、欧州バイオインフォマティクス研究所 (European Bioinformatics Institute、英国) などの公共データベースから、インターネットを使用して全て無償で入手が可能であり、2012年からはアマゾン・ウェブ・サービス (Amazon Web Services : AWS) のクラウドサービスからの入手も可能となっている。

クラウドアクセスを可能にすることで、医学研究者が希少疾患や一般的疾患を引き起こす遺伝的差異を、より正確に特定することができるようになると共に、データダウンロードの時間を大幅に短縮することもできるようになる。

なお、同プロジェクトに関する最新記事は、

<[http://www.1000genomes.org/sites/1000genomes.org/files/documents/1000\\_genomes\\_phase1.pdf](http://www.1000genomes.org/sites/1000genomes.org/files/documents/1000_genomes_phase1.pdf)>からダウンロード可能。

National Institutes of Health, The 1000 Genomes Project more than doubles catalog of human genetic variation

<http://www.nih.gov/news/health/oct2012/nhgri-31.htm>